



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



柏崎刈羽原発6号機を視察しました

厳しいセキュリティチェックはされているが、自立した事業所運営に課題があるように見えた



1/15 原子炉6号機を見ながら説明を受ける

1月15日、遠藤れい子は辰巳孝太郎衆院議員、岩淵友参院議員、藤野保史元衆院議員、池田力刈羽村議とともに、柏崎刈羽原発6号機を視察しました。
はじめに、発電所副所長から、「安全性を高める日々の取り組み」の説明を受け、その後、広大な原発敷地を説明受けながらバスで移動。建屋到着し、幾重ものセキュリティチェックの関門を通り、6号機構内へ入る。視察者ルームから、原子炉本体上部、使用済み核燃料保管プールなど見ながら説明を受ける。

「その質問には答えられません」との回答も

辰巳議員「大きな穴は何」

東電「回答できません」

藤野氏「中電浜岡原発の基準地震動の捏造について、東電の評価を聞かせて」

東電「経緯を見守っている」

私たちは真摯に対応している

藤野「規制委員長は『捏造であり、審査を一から見直す』と言ってる。同業者として、東電の評価は？」

東電「事実関係を、見守る」

辰巳議員「基準地震動のデータ解析などは外部に委託しているのか？」

東電「委託はしている」

辰巳「委託業者はどこか？」

東電「言えません」

福島県民は納得できない

岩淵議員「福島は今も収束していない。廃炉作業が先ではないか。福島県民は再稼働など絶対納得できない」

東電「廃炉作業を進めている。そのために稼がないといけない」

●福島よりも、『稼ぐ』こと

が大事だとの回答に驚いた。

遠藤「災害時に電源を絶やさないとある期間は？」

東電「まず1週間、その間に外部からの調達もして、さらに1週間は大丈夫」

藤野「能登半島地震では4mもの海底隆起が起きた」

東電「規制当局と検討し、『当原発には(隆起させる)の認識を統一できた」

池田議員「刈羽村議会でも何年も前に質問したことに回答がない。貯水タンクなど、地震の長周期振動でのスロッシング対策は？」

東電「落雷時の例は確認する。タンクの耐震性に問題は無い。スロッシングで溢れた水

も、ほとんどは元に戻る事を確認している」
●膨大な金と労力で再稼働にまつら。「福島事故の教訓を生かす」は言葉だけの印象でした。
6号機制御棒に不具合
視察後、「6号機の制御棒操作にトラブル発生」のニュース。こんな状態で再稼働などありえません！



1/15 午後から柏崎市民の皆さんと懇談

日本共産党の前進で政治を変えよう！

高市首相と維新政権の国民負担を強いる数々を許すな！

- 統一教会との癒着問題に蓋する解散。アメリカ言いなりの軍事費大增額。中国との国交悪化。
- 急激な円安進行で経済悪化を招き国民生活を圧迫。
- 最賃引上げ放り投げ、労働規制緩和で労働環境悪化に。
- 維新議員の半数が国保逃れの社保加入。
- 入院ベッド11万床の削減、医療費4兆円削減、OTC類似薬保険外し…

遠藤れい子の笑顔でファイト